

生活指導部だより

平成28年7月20日

「SNS石東中ルール」が策定されました

昨年度、東京都教育委員会は「SNS東京ルール」を策定し、今年度このルールを踏まえた「SNS練馬区ルール」が策定され、7月末までに「SNS学校ルール」を策定することを求めています。そのため、本校でも4月から生徒会本部と担当教員が中心となり、「全校への呼びかけ（5月）」「アンケート調査（5月）」「SNS学校ルール原案作成の学級討議（6月）」「生徒協議会において原案のまとめ（6月）」「先生たちとの協議（7月）」といった取組を経て、「SNS石東中ルール」が決まりました。

まず、SNS東京ルールについてお知らせします。

SNS東京ルール

- ①一日の利用時間と終了時間を決めて使おう。
- ②自宅でスマホを使わない日をつくろう。
- ③必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
- ④自分や他者の個人情報を載せないようにしよう。
- ⑤送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。

これを踏まえたSNS練馬区ルールは次のようになります。

SNS練馬区ルール

1 自分を守る

- ①家族と利用時間を決めよう。
- ②自分の写真や個人情報（※1）をのせないようにしよう。
- ③困ったことがあったら保護者や先生に相談しよう。

2 相手を守る

- ④他の人の写真や個人情報をのせないようにしよう。
- ⑤見た人が不快に感じたり傷ついたりする内容ではないか、確かめよう。
- ⑥相手の都合を考えて、送信時刻や送信回数に気をつけよう。
- ⑦人と会っているときは、スマートフォンやゲーム機などの使用は控え、会話を大切にしよう。

3 家族を守る（保護者向け）

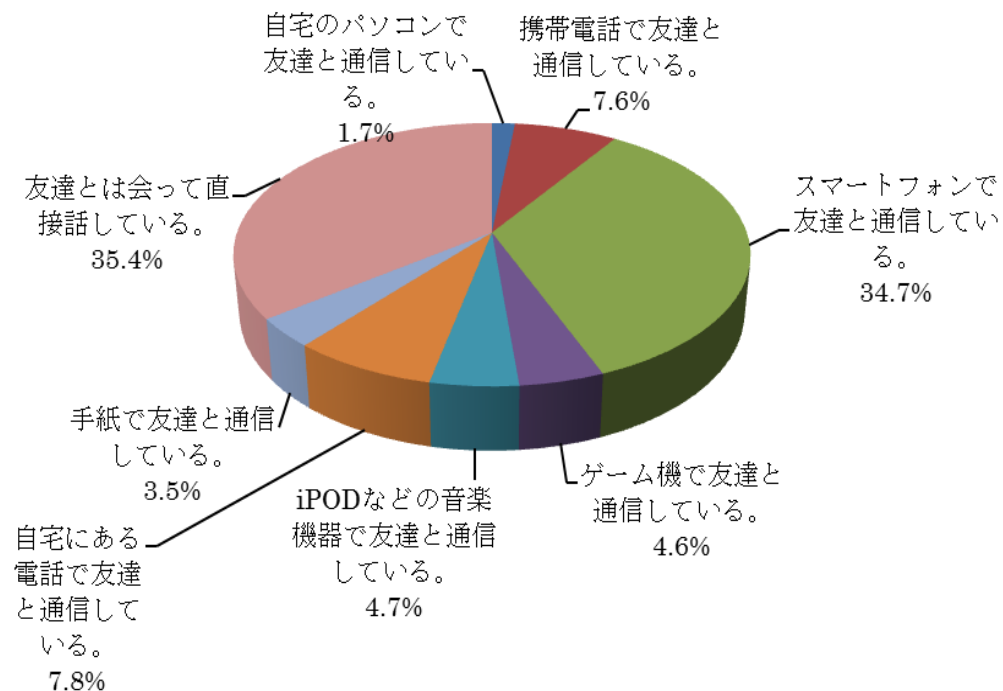
- ⑧インターネット等の危険性について子供と話し合ひましよう。
- ⑨インターネットにつながるすべての電子機器（※2）にフィルタリングやセキュリティソフトを付け、安心して活用できるようにしよう。
- ⑩子供の利用状況を把握し、保護者が責任をもって管理ましよう。

※1 個人情報とは、住所、電話番号、名前、写真、メールアドレス、IDなど個人を特定できる情報のことです。

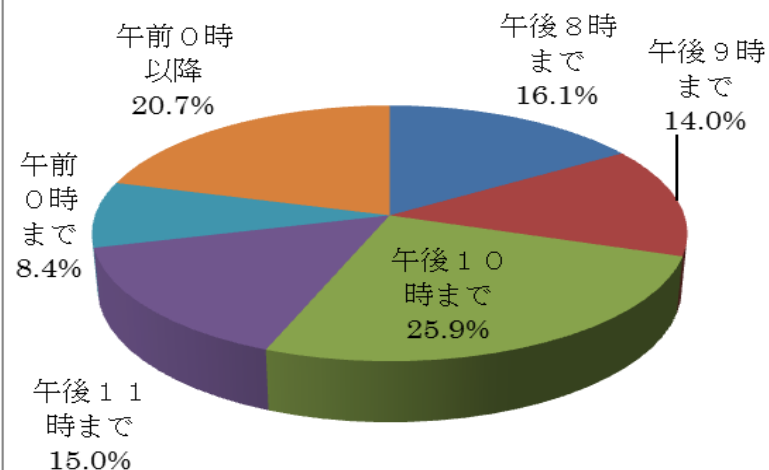
※2 インターネットにつながる電子機器は、テレビ、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機、タブレット、携帯型音楽プレーヤーなどすべてを含みます。

この2つのルールを基に、「SNS学校ルール」を策定するため、まずSNSアンケート調査を行いました。学校全体の結果は次のようになりました。

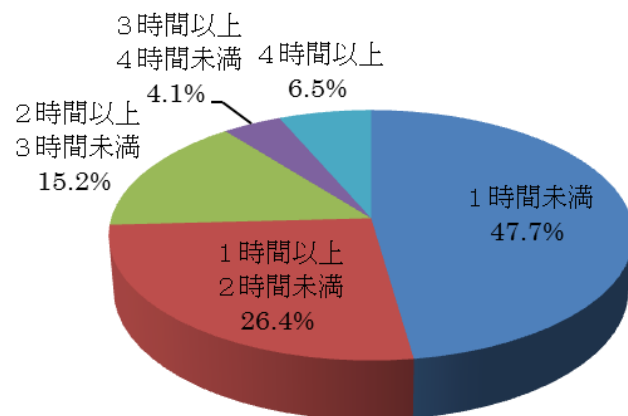
友達とのコミュニケーションを、どのような手段で行っていますか。



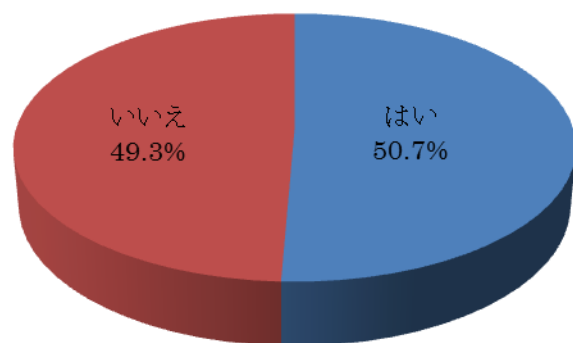
パソコンかスマートフォン、携帯電話による友達との通信を、夜は何時までやっていますか。



パソコンやスマートフォン、携帯電話などによる友達との通信を、どのくらいやっていますか。



家庭で、携帯電話やスマートフォンなどインターネットを利用する際のルールがありますか。



これらの資料を基に、6月16日（木）の学活の時間に、「SNS学校ルールづくりのための学級討議」を行いました。3つの事例に対して、どうすればこのようなことが起きないか、ルールを決めていきました。

【事例1】夏休みに入る前に「塾の帰り時間を連絡するため」という理由でスマートフォンを買ってもらった。勉強の空き時間に SNS を利用して書き込みを行ったり無料アプリをダウンロードしてゲームをしたり、動画のチェックをしたりしていた。夏休みなのであまり友達とも会えず寂しいと思ったが、SNS や無料通話アプリを使うと、夜遅くまで会話できるので、普段の学校生活よりも友達が近くに感じる。動画サイトも、自分の好きなものを、すぐに、どこでも見られるから利用していてとても楽しい。最近、友達が自分の SNS に投稿してくれたらすぐに返信するため、食事中もお風呂でも必ずスマートフォンを持っている。ただ、最近親が「夏休みが終わったら、夜遅くまでスマートフォンを利用しないように」と言ってくるのが悩みである。

【事例2】自分のブログに学校の友達と撮った写真を顔付きで何枚か掲載した。後日、学校で私が友達の悪口を言っているというわさが、私の入っていないメッセージアプリのグループで広まっていることを知った。どうやら、コメントが友達の服を「かわいい！」という意味で「かわいくくない」と書いたことが原因のようだ。また、そのメッセージアプリでは「かわいくない服を着る子」として友達の写真が出回っているようだ。友達は別の学校なのでそのことをまだ知らないが、知ると友達も傷つくと思うし、限られたグループ内で写真が出回っているだけなので、あえて言うつもりはない。ただ、友達にいつかばれるのではないかと不安だ。

【事例3】メッセージアプリのグループを利用して、毎日学校から帰った後に友達と会話をしていて、いつも一人の友達が「既読」してもなかなか返事をくれない。いらいらしたので、嫌みをいくつか送ったところ、それ以降、その友達とメッセージアプリを使っての会話ができなくなった。後日、別の友達に聞いたところ、「怒ってブロックした」とのことだった。それ以降、学校でも以前のようにその友達とは話ができなくなった。また、一緒にグループを作って会話をしていた別の友達が、ブロックした友達と、自分の知らない話題で盛り上がっているのを見た。もしかしたら、自分を外した別のグループがすでに作られているのかもしれない。それを考えると、不安でいっぱいになった。

3つの事例を通して、各学級で4つ程度の原案を作り、全部で56の原案を生徒協議会にてまとめていきました。その結果、次の2つに決まりました。

SNS 石東中ルール

- ① 課金・フィルタリング・時間制限について、親・家族と話し合う
- ② どんな理由であれ悪口・個人情報※は書かない、のせない

※ 個人情報とは住所・氏名・電話番号・IDなど、個人を特定できる情報や、それらの情報を特定できる写真のこと
策定には生徒会本部・専門委員長・学級委員が中心となって、生徒自らルールづくりを進めてきました。担当教員からは「時間をかけて議論を進め、学級でも生徒協議会でも本当に上手に話し合っていました」と生徒の活動を高く評価する感想がありました。

今後はぜひご家庭でもルールづくりを進めていただき、ネットやSNSのトラブル防止に向けて話し合っただけであれば幸いです。よろしくお願いいたします。

インターネットで起きている事件や事故について聞いたことがある。
LINEやfacebookなどの通信アプリで友達と通信したことがある。

